

中学地理プリント (過去問類似)

南アメリカ・オセアニア州

名前

得点

/8

問1 オーストラリアにおける年間降水量と農業地域の関係について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2018年 熊本県公立入試 類似)

- 年間降水量が1000mmを超える北部や東部の沿岸部は、主に森林地帯となっている
- 年間降水量が250mm未満の広大な内陸部は、小麦栽培の主要な中心地となっている
- 羊の飼育は降水量の多い沿岸部に限定されており、乾燥した地域では一切行われない
- 大陸全体で灌漑設備が整っているため、降水量の差による土地利用の違いは見られない

問2 オーストラリアは世界有数の鉱産資源の産出国であり、その多くを日本などへ輸出しています。大陸の地質や地形に基づいた資源の分布について、大陸東部の山脈付近で採掘が盛んな資源と、大陸北西部の地域で採掘が盛んな資源の組み合わせとして正しいものを、次のうちから選びなさい。 (2023年 大阪公立入試 類似)

- 東部：石炭、北西部：鉄鉱石
- 東部：鉄鉱石、北西部：石炭
- 東部：石炭、北西部：ボーキサイト
- 東部：銅、北西部：石炭

問3 オーストラリアの輸出相手国の変化について、1960年代後半から現在までの推移と特徴を説明したものととして、適切なものはどれですか。 (2022年 新潟県公立入試 類似)

- かつては歴史的なつながりが深いイギリスなどの欧米諸国が主な輸出先であったが、現在は中国、日本、韓国などのアジア諸国が上位を占めている。
- 1960年代から現在に至るまで、一貫してアメリカ合衆国が最大の輸出相手国であり、その地位は揺らいでいない。
- 近年ではアジア諸国の経済停滞により、輸出の主軸をニュージーランドなどの近隣オセアニア諸国に完全に切り替えている。
- かつては鉱産資源を多く輸出していたが、現在はアジア諸国に向けて工業製品を輸出する構造に変化している。

問4 南アメリカに位置するアルゼンチンの輸出額は約667億ドルにのぼります。この国の輸出構造において、輸出額の多い順に上位3つの品目を並べたものとして正しいものはどれですか。 (2026年 滋賀公立入試 類似)

- 穀物、肉類、野菜・果実
- 鉄鉱石、石炭、肉類
- 輸送用機器、穀物、野菜・果実
- 原油、鉄鉱石、石炭

問5 ニュージーランドでは、ラグビーのナショナルチームが試合前に先住民の伝統的な踊りである「ハカ」を披露することが恒例となっています。このような取り組みが行われている背景にある、ニュージーランドの社会的な姿勢や多文化共生のあり方として最も適切な説明を選びなさい。 (2025年 栃木公立入試 類似)

- 先住民であるマオリの伝統文化を尊重し、国の誇りやアイデンティティの一部として広く社会に取り入れている。
- 隣国であるオーストラリアの先住民の文化を、スポーツを盛り上げるための演出として試験的に導入している。
- イギリスからの移民が持ち込んだラグビーを、先住民の文化を完全に排除して発展させるための比較対象としている。
- 古代エジプト文明から伝わったとされる儀式を、スポーツの勝利を願うための独自の宗教儀礼へと作り替えた。

問6 南アメリカ大陸の西側に位置するアンデス山脈の、標高4,000mを超える高地で見られる生活の特色として、最も適切なものはどれですか。 (2022年 鹿児島県公立入試 類似)

- 温暖な気候を活かして、オリーブやブドウなどの果樹栽培が盛んに行われている。
- 森林を焼き払って灰を肥料にする焼畑農業が行われ、主にキャッサバを栽培している。
- 気温が低く農作物の栽培が難しいため、リャマやアルパカを飼育する放牧が行われている。
- 広大な低湿地を干拓し、機械化された大規模な稲作によって米を生産している。

問7 2022年の日本における鉄鉱石の輸入先に関する統計において、オーストラリアが52.8パーセントと過半数を占めています。これに次いで、32.4パーセントという高い割合を占める、南アメリカ大陸で最も面積が広い国はどこですか。 (2025年 愛媛公立入試 類似)

- ブラジル
- アルゼンチン
- カナダ
- チリ

問8 オーストラリアが目指す多文化社会に向けた具体的な取り組みについて、先住民であるアボリジニへの対応や学校教育の状況を説明したものととして、最も適切なものはどれですか。 (2021年 群馬県公立入試 類似)

- 先住民アボリジニの先住権（土地所有権）を認めるとともに、学校教育では日本語や中国語などの外国語学習を推奨している。
- 先住民アボリジニを特定の地域に強制的に隔離し、学校では英語以外の言語を使用することを禁止している。
- 先住民アボリジニに対してはヨーロッパの文化を受け入れる同化政策を継続し、外国語教育よりも自国の伝統文化のみを優先している。
- 先住民アボリジニの権利を制限する一方で、アジアからの移民を増やすために英語教育を完全に廃止している。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 年間降水量が1000mmを超える北部や東部の沿岸部は、主に森林地帯となっている	オーストラリアでは、降水量が多い沿岸部から乾燥した内陸部にかけて、土地利用が森林、混合農業、放牧、そして砂漠へと変化します。年間降水量が1000mm以上の多雨地域である北部や東部の沿岸部は、樹木が育ちやすいため森林地帯となっています。一方で、250mm未満の極めて乾燥した内陸部は農業が困難な砂漠や荒地となっており、小麦栽培はより降水量の多い地域で行われます。このように、この大陸の農業地域区分は自然環境、特に降水量に強く依存しています。
問2	答え 1 東部：石炭、北西部：鉄鉱石	オーストラリアでは、古期造山帯に属する東部のグレートディバイディング山脈周辺で石炭が、安定陸塊が広がる北西部のピルバラ地区などで鉄鉱石が豊富に採掘されます。これらの資源は、大規模な露天掘りによって効率的に採掘されているのが特徴です。
問3	答え 1 かつては歴史的なつながりが深いイギリスなどの欧米諸国が主な輸出先であったが、現在は中国、日本、韓国などのアジア諸国が上位を占めている。	オーストラリアはかつてイギリスの植民地であった背景から、1960年代頃まではイギリスやアメリカといった欧米諸国との貿易が中心でした。しかし、アジア諸国の経済成長に伴い、鉄鉱石や石炭などの鉱産資源をそれらの国々へ輸出する割合が拡大しました。2019年の統計では、輸出相手国の1位が中国、2位が日本となっており、上位をアジア州の国々が占めるようになっています。
問4	答え 1 穀物、肉類、野菜・果実	アルゼンチンは「パンパ」と呼ばれる広大な温帯草原を活用した大規模な農業・牧畜業が盛んです。そのため、輸出構造において農畜産物が占める割合が非常に高く、統計資料では1位に穀物、2位に肉類、3位に野菜・果実が並びます。ブラジルやオーストラリアで上位にくる鉄鉱石や、先進工業国で上位にくる輸送用機器は、アルゼンチンの主要な輸出上位品目には該当しません。
問5	答え 1 先住民であるマオリの伝統文化を尊重し、国の誇りやアイデンティティの一部として広く社会に取り入れている。	ニュージーランドでは、先住民マオリの権利や文化を尊重する政策が進められており、マオリ語を公用語の一つに指定するなど、多文化社会の構築を目指しています。ラグビーの代表チームがハカを踊ることは、マオリの伝統をニュージーランド国民共通の財産として尊重し、その精神を継承しようとする強い姿勢の表れです。
問6	答え 3 気温が低く農作物の栽培が難しいため、リャマやアルパカを飼育する放牧が行われている。	アンデス山脈の高地は標高が高いために気温が低く、一般的な農作物の栽培には適していません。そのため、厳しい環境でも適応できるリャマやアルパカなどの家畜を飼育し、その毛を衣類に、肉を食用に、また荷物の運搬などに利用して生活を営んでいます。オリーブは地中海性気候、焼畑農業は熱帯、稲作は温暖で水が得やすい地域の特徴です。
問7	答え 1 ブラジル	日本は工業原料である鉄鉱石のほとんどを海外からの輸入に依存しています。輸入先として最も割合が高いのはオーストラリアですが、これに次いで多いのが南アメリカ大陸の東側に位置するブラジルです。ブラジルにはイタピラなどの大規模な鉄山があり、世界有数の産出量を誇っています。
問8	答え 1 先住民アボリジニの先住権（土地所有権）を認めるとともに、学校教育では日本語や中国語などの外国語学習を推奨している。	オーストラリア政府は過去の同化政策を反省し、1990年代以降、先住民アボリジニの土地に対する権利（先住権）を正式に認めるようになりました。また、地理的に近いアジア諸国との関係を重視し、多文化理解の一環として、学校で日本語や中国語といった近隣諸国の言語を学ぶことが奨励されています。これにより、多様な背景を持つ人々が共存できる環境づくりが進められています。